基本目標②「地域の魅力を高め、交流から関係、そして定住へとつなげる」

（取組みの方向性）

全国的な人口減少の下、人口の確保に向け、今後ますます地域間の獲得競争が激しくなると予想されます。このような中、本町の優れた自然環境や先人の歩みなど、地域の歴史・文化や魅力を積極的に町内の子どもたちに伝え、地域愛の醸成に努め、将来のＵターンを誘導します。また、観光で来訪される方はもちろん、本町での勤務や滞在、大学連携や木造インターンシップ事業、田舎暮らし体験など、さまざまな地域づくり活動へ参加される方々に向け、町の魅力を伝え、関係人口として、繰り返し来訪したいという関係に発展するよう努めます。またＵＪＩターン者はもちろん、全ての人が、神河町に住んでみたい、住んで良かったと思えるような居住環境の形成・まちづくりを進めていきます。

（数値目標（ＫＰＩ重要業績評価指標））

数値目標	基準値 （令和元年末）	目標値 （令和６年末）
20 歳以上の社会移動の均衡（転出超過数０人）	-80 人	０人

（主なアクションプラン）

①移住プランナーと空き家活用
②若者世帯向け住宅施策
③地域おこし協力隊の継続
④就業支援事業
⑤外国人受入れに伴う環境整備
⑥ふるさと納税の推進
⑦村を守ろう、地域を守ろう、町を守ろう教育の推進
⑧関係人口の発掘・誘導